

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		情報指令課
	03	05	01	02	01	

政策
119番通報・消防通信設備の適切な運用

政策の内容

119番通報に対して迅速的確に対応するため、より災害に強い消防通信ネットワークの強化及び運用を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害(地震や津波、豪雨、火災など)に対して危険を感じますか。	2.42	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

通報者のニーズに対して適切に対応するため指令管制員の対応能力の向上を図るため、研修を実施している。
消防救急デジタル無線システム事業については、不感地帯の改善や通信ネットワークの強化方法を模索している。
消防指令管制システムをはじめとする消防情報システムの機能維持を図るとともに、ICTの進展による消防情報システムへの新たな技術の導入について調査研究する必要がある。
令和10年度に新たな消防救急デジタル無線システムの運用が開始できるよう、計画的に事業を推進する。
市民等の応急手当実施率を高めていくため、指令管制員が行う応急手当のアドバイス(口頭指導)の技術向上を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	351,977				
決算	326,336				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	32.0				
会計年度任用職員	1.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
消防指令センター機能維持管理事業	消防救急デジタル無線システムの再整備に向けた実施設計を行い、消防団との連絡体制強化、災害時の孤立対策、バックアップ通信網強化等を図る。	283,512
		268,672
消防情報・消防OA基盤整備事業	消防業務に使用するOA機器の体制強化及び維持管理を行う。	29,066
		28,944
消防救急デジタル無線システム再整備事業	消防救急デジタル無線システムの再整備に向けた実施設計を行い、消防団との連絡体制強化、災害時の孤立対策、バックアップ通信網強化等を図る。	39,399
		28,720

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
指令管制員の操作・聴取技術のスキルアップ研修の実施数(回)	指令管制員を対象としたスキルアップ研修の一人当たりの受講件数とする。	スキルアップ研修の受講状況を図る指標であり、指令管制員の口頭指導技術の向上に寄与すると見込むもの。	目標値	-	3	3	3	3	3
			実績値	2	3				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スキルアップ研修目標の達成度(%)	指令管制員が心肺機能停止と判断し通報者等に口頭指導(通報者等が心肺蘇生法を理解している場合も含む)を行った事案における応急手当(心肺蘇生法又は心臓マッサージなど)実施率	指令管制員の口頭指導技術等の向上により、市民等の応急手当実施率が向上すると見込むもの。	目標値	-	52	52	52	52	52
			実績値	51	58				
			達成率	-	112%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
火災による死者数(放火自殺者を除く)(人)	○	1年間の市内における火災による死者数(放火自殺者を除く) ※死者数8人(2023年度)を0人にする。	実績値	5	7					0
			達成率	38%	13%					
救急現場における市民による応急手当実施率(%)	○	1年間に市内において、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	実績値	51	55					60
			達成率	84%	92%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

充実強化した消防・救急体制による迅速的確な対応が、平時でも緊急時でも市民の安全・安心を守っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
消防指令センター機能維持管理事業	- 消防指令管制システムの維持管理 保守業務仕様書に基づき、適正な維持管理を行った。 - 消防救急デジタル無線システムの維持管理 保守業務仕様書に基づき、適正な維持管理を行った。また、耐用年数を迎える無線機の更新を図った。	引き続き、消防指令管制システム及び消防救急デジタル無線システムの継続的な保守体制を維持する。
消防情報・消防OA基盤整備事業	消防業務用端末及び消防業務用サーバー等の維持管理 長期継続契約に基づき適正な維持管理を行った。	今後計画している、消防業務用端末更新事業の効率化を図るため、消防業務用端末の員数の精査及び無線化の環境整備について検討する。
消防救急デジタル無線システム再整備事業	消防救急デジタルシステムの再整備に係る業務 基本設計を踏まえ、新消防救急デジタル無線システムの構成、機器の員数を定め、発注仕様書等の図書類を作成した。	消防局と消防団との連絡体制の強化や通信不安定エリアの解消、並びに山間地無線基地局の落雷対策を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・指令管制員の操作・聴取技術のスキルアップ研修を計画的に実施し、指令管制員の口頭指導技術の向上を図ることができた。その成果として、指令管制員が心肺機能停止と判断し通報者等に口頭指導を行った事案における応急手当実施率が、目標値を達成することができた。引き続き、指令管制員が心肺機能停止と判断し通報者等に口頭指導を行った事案における応急手当実施率が、目標値を達成できるよう、指令管制員の操作・聴取技術のスキルアップ研修を計画的に実施していく。